

令和4年度静岡県高等学校新人大会バドミントン競技

令和4年10月15日(土)・16日(日) 沼津市民体育館 団体戦  
令和4年10月22日(土)・23日(日) 静岡市立清水桜が丘高等学校 個人戦



男子学校対抗 優勝 加藤学園

準優勝 星陵 3位 富士見

2年男子ダブルス

優勝 勝又 継心・勝又 翔哉(加藤学園)

準優勝 兼子 大輝・日吉 佑斗(加藤学園)

第3位 山本 脩太・鶴岡 成々斗(富士見)

1年男子ダブルス

優勝 菊地 蓮・佐藤 僚真(加藤学園)

準優勝 大石 幸矢・徳増 蒼空(浜松大平台)

第3位 岩淵 真幸・佐藤 陸士(加藤学園)

第3位 酒井 陽・藤田 和人(常葉大橋)

2年女子ダブルス

優勝 石井 琴巳・松本 晴愛(星陵)

準優勝 緒方 彩月・村井 心優(加藤学園)

第3位 下田 彩葉・山本 美月(星陵)

1年女子ダブルス

優勝 青木 千恋・尾崎 鈴(磐田農)

準優勝 曾根原 彩生・山田 安香璃(加藤学暁秀)

第3位 堀出 麻由・中矢 楓(浜松大平台)

第3位 岡村 知紘・田中 涼羽(小笠)

女子学校対抗 優勝 星陵

準優勝 加藤学園 3位 常葉大菊川

2年男子シングルス

優勝 勝又 翔哉(加藤学園)

準優勝 勝又 継心(加藤学園)

第3位 兼子 大輝(加藤学園)

1年男子シングルス

優勝 菊地 蓮(加藤学園)

準優勝 佐藤 僚真(加藤学園)

第3位 徳増 蒼空(浜松大平台)

第3位 竹内 広仁(富士東)

2年女子シングルス

優勝 石井 琴巳(星陵)

準優勝 松本 晴愛(星陵)

第3位 下田 彩葉(星陵)

1年女子シングルス

優勝 青木 千恋(磐田農)

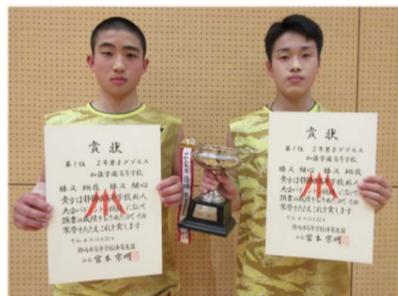
準優勝 大畑 文乃(加藤学暁秀)

第3位 前澤美海(駿河総合)

第3位 平井葉稀(藤枝明誠)



2年シングルス優勝者



2年ダブルス優勝者



一年優勝者の皆さん

飛躍する、プレーヤーを応援します!!

静岡県バドミントン協会事務局

〒421-0113 静岡市駿河区下川原 6-13-10

鈴木 利幸

TEL 090-3957-0971

E-mail shizuokakenbadkyokai@yahoo.co.jp

静岡県バドミントン協会広報委員会

〒416-0909 静岡県富士市松岡 1515-12

長島 稔

TEL&FAX0545-61-2226

E-mail kouhounagasima@gmail.com

# バドミントン しずおか

第67号

発行 令和5年5月15日 発行所 静岡県バドミントン協会 編集者・印刷 広報委員会



## 会長就任に当たり

### 静岡県バドミントン協会 会長 杉山 敏充

昭和22年、県教育委員会は富士中学校を「女子体育」の研究指定校とした。時の体育主任であった塩川 甫(はじめ)先生は県下で初めて教材として学校にバドミントンを取り入れ、翌年には富士中の教師を中心とした15名で富士町(現富士市)にバドミントン同好会をスタートさせた。

折しも、昭和24年開催予定の第4回国民体育大会(東京神宮外苑)では初めてバドミントンがオープン競技として採用されることとなり、その出場には県体育協会への団体加盟が条件であることから急遽、富士町同好会を発展的に解消し、初代会長は当時、富士中学校長である藤田智策先生にお願いし、初代の理事長は塩川先生、事務局長には渡辺剛先生という体制で静岡県体育協会に協会設立の申請を行ったという。時は、昭和24年4月1日、静岡県バドミントン協会の発足である。

その後、長い昭和の時代から平成の時を経て、今や令和の時代に移り変わっているがこの74年の長き歴史を経て現在では本会会員登録数は4,500名を超える団体組織に発展している。終戦から数年後、僅か15人での組織の立ち上げから激動の時代を乗り越え協会の存続と発展に多大なる尽力された先人の方々には改めて深く敬意を表するものがあります。

令和5年度、この歴史ある本協会の会長として不肖杉山が第10代会長を務めさせて頂くこととなりましたが、この協会設立年度に産声を上げた自分にとっては今まさにその責任の重さを痛感せざるを得ません。よもや、協会発足年度が自分の生まれた年だったとは何か運命的なものを感じざるを得ないのであります。

世界のスポーツも、今まさにスポーツは世界共通の人類の文化であると評されその教育的価値も一段と高まりを見せているが、取り分け私達を取り巻くバドミントン界も世界で活躍する有望選手の輩出によりジュニア選手の参加数も男女の別なく増え続けておりメジャースポーツの仲間入りを果たした感があります。

一方、健康スポーツとしてのバドミントンも人気度が上がり人と人、地域と地域との交流などの一体感や活力を醸成する場ともなっておりますことから今後ますますシニア層における競技人口は増えることでしょう。

私達、県協会はその重点目的として「競技の普及、発展のため競技力向上に努め、全国及び世界で活躍できる選手を輩出する環境整備を行うと共に、本会の組織体制の充実を図り健康スポーツとして地域との交流を促進し愛好される競技団体としてオール静岡で活動する」ことを念頭に多くの皆様方との関係性を一段と高めご期待に沿えるよう最大限の努力を致す所存でありますので引き続きのご支援、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。